

お米の無代かき栽培応援キャンペーン

〈平成29年10月～平成30年1月末〉

キャンペーン期間中、キャンペーン用応募はがきが貼り付けている無代かき栽培米をお買い上げいただき、応募はがきのアンケートにお答えの上応募していただくと、抽選で八郎湖流域の特産品をいずれか一つプレゼントします。

プレゼントの一覧 (各30名様)



〈10個入り〉

大瀧村特産のカボチャを使ったパンプキンパイ



〈400g前後〉

八郎湖産のワカサギなど国産の原料を使った、佃煮の詰め合わせ



〈720ml〉

石川理紀之助ゆかりの地「草木谷」の田んぼで栽培した酒米で醸した純米吟醸酒
(入手が出来なかった場合は別の純米吟醸酒となります)

注) 20歳未満の方は選択できません

応募方法

応募はがきの貼り付けてある無代かき栽培米を購入し、応募はがきのアンケートにご記入の上、切り取り線で切り取り、必要な切手を貼って郵送してください。

お一人様何通でも応募できます。

尚、応募口数はお買い上げのお米の内容量に応じて異なります。

応募期間

平成29年産新米発売日 ～ 平成30年1月31日 まで

(当日消印有効。応募はがきがなくなり次第終了となります。)

プレゼントの発送

平成30年2月下旬～3月末を予定しています。

※当選の有無はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます

お問い合わせ先

秋田県生活環境部環境管理課 八郎湖環境対策室

〒010-8570 秋田県秋田市山王4-1-1

電話：018-860-1631 FAX：018-860-3881



八郎湖水質保全
シンボルキャラクター
せいのりゅう
清龍くん

八郎湖の水質を守るために お米の無代かき栽培を 応援しましょう



通常の稲作では田植え前に水を入れ、機械により土壌を攪拌し泥状にします。これを「代かき」と言います。代かきの主な効果は、土を軟らかくすることで苗が植えやすくなることです。



代かき作業

代かきした後は、泥水を水田から外に排水して田植えが始まります。しかし、多くの水田から出た泥水が排水路を通じて一斉に八郎湖に流れ込むと、水質悪化の大きな原因になることから、農家の皆さんは水管理に努力しています。

無代かき栽培は八郎湖の水質をより良くします

無代かき栽培とは、田植え前に行われる代かきの代わりに、乾いた土を細かくしてから必要なだけ水を入れ、その後田植えをする方法です。この方法であれば田植え前に泥水を排水しないので、汚濁負荷*を抑えることが出来ます。



空から見た八郎湖 (秋田県)

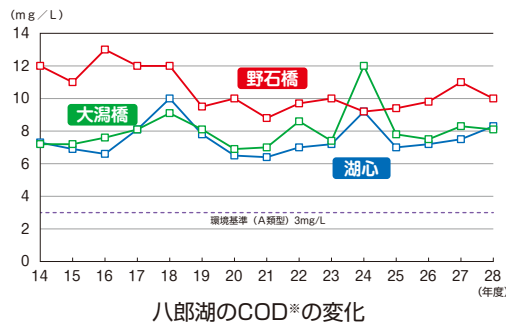
つまり、八郎湖周辺の田んぼで無代かき栽培の面積が広がることによって、八郎湖の水質をより良くすることができるのです。

※「汚濁負荷」とは陸から水環境に排出される汚濁物質による悪影響のこと。

八郎湖の水質について

八郎湖は昭和32年から始まった八郎潟干拓事業によって残された淡水湖です。

八郎湖の水質は、干拓事業が完了してから徐々に富栄養化が進みました。そこで、秋田県では、平成19年から八郎湖に係る湖沼水質保全計画を策定し、水質保全に資する各種事業を関係機関と連携して実施しており、現在水質は小康状態にあります。

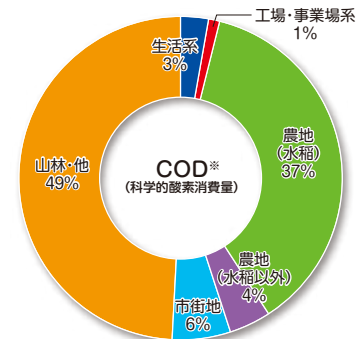


八郎湖と農業の関係

八郎湖に流入する汚濁負荷のうち、農地由来の割合は約4割を占め、特に田んぼで代かき後、田植えのためにする排水が大きな汚濁負荷となっていました。

そこで、代かきするときに必要以上の水を田んぼに入れないように農家に協力を求めたところ、現在では9割以上の田んぼで適切な水管理が行われるようになりました。

しかし、田んぼによる負荷の2割程度の削減にとどまるため、水質を改善



平成24年度の排出負荷量 (kg/日)

するためにはさらに代かき後の排水を減らす必要がありました。

そこで、代かきを行わなくてもお米が作れる「無代かき栽培」を広げることにしました。

※「COD（化学的酸素消費量）」とは水質汚濁の指標のひとつで、水中の有機物などの物質が酸化するときに必要な酸素の量で有機物などの量を示す。

無代かき栽培の利点

無代かき栽培は**水田からの汚濁負荷を大きく減らすことが出来る**ほか、代かき栽培に比べ次の利点もあります。

- 田んぼでの作業時間を減らすことができる。
- 代かきより少ない水の量で春の作業が進められる。
- 稲の根の生育が良くなり、丈夫な稲に育てることができる。
- 柔らかすぎる田んぼでは地盤が固くなり、機械作業がしやすくなる。



代かきせずに土を細かくする作業

無代かき栽培を行っている生産者を応援しましょう

秋田県八郎湖環境対策室では、八郎湖の水質保全のため無代かき栽培を行っている生産者を支援しています。

是非皆さんも八郎湖の水質と無代かき栽培に関心を持っていただき、無代かき栽培で生産されたお米を食べてください。



キャンペーンに協力してくれる生産者のみなさん